



2021年1月28日
東日本旅客鉄道株式会社

Suicaが「Fitbit Charge 4」でご利用いただけるようになります

東日本旅客鉄道株式会社は、3月上旬からFitbit, Inc.のウェアラブルデバイス「Fitbit Charge 4」でSuicaをご利用いただけるようにします。

最新世代のフィットネストラッカー「Fitbit Charge 4」がSuicaとして鉄道・バス、お買い物などにご利用できるようになります。引き続き、Suicaを活用したキャッシュレス化の推進に向けて取り組んでまいります。

1. 概要

Android™スマートフォンもしくはiPhoneを、フィットビットの「Fitbit Charge 4」とペアリングし、フィットビットのアプリケーションを操作することで、「Fitbit Charge 4」でSuicaの発行やGoogle Pay™によるチャージなどがご利用いただけます。なお、Suicaは日本全国の約5,000駅、約5万台のバスのほか、交通系電子マネーとして約110万店舗（2020年12月末時点）でご利用いただけます。



～ Suica対応の「Fitbit Charge 4」～

2. サービス開始時期

2021年3月上旬

3. 年会費

無料

※ Suica発行にかかるデポジットは不要です。

4. 対象モデル（2021年1月28日時点）

・Fitbit Charge 4（Suica対応機種）

※Suicaのご利用には、Suicaに対応した「Fitbit Charge 4」が必要となります。
現在発売中の「Fitbit Charge 4」はSuicaをご利用できませんのでご注意ください。
Suicaに対応した「Fitbit Charge 4」の発売時期に関しては、以下のHPなどで改めてお知らせします。（<https://www.fitbit.com/jp/charge4>）

5. ご利用いただける機能・サービス一覧

対象のウェアラブルデバイスと接続したフィットビットのアプリケーションでご利用いただける機能・サービスは以下のとおりです。

機能・サービス	可否	備考
新規発行	○	発行と同時に最低 1,000 円のチャージが必要 端末 1 台につき発行できる Suica は 1 枚
クレジットカードによるチャージ	○	Google Pay (Google アカウントに登録されているクレジットカード) からのチャージが可能
コンビニなどでの現金チャージ	○※	
券売機などでの現金チャージ	○※	一部の駅に設置されているトレイ型の券売機などで可能
銀行チャージ	×	
チャージ残高による鉄道利用	○	Suica 対応のバス利用も可能
チャージ残高でのお買い物	○	
残高表示	○	ウェアラブルデバイスでも表示可能
履歴表示	○	前日分までの表示
払いもどし	○	手数料 (220 円) が必要、アプリ上で払いもどし可能
再発行	×	
機種変更による残高引継ぎ	×	
JRE POINT を貯める	○	JRE POINT WEB サイトでの登録が必要
JRE POINT によるチャージ	×	
定期券の購入	×	バス定期券も不可
Suica グリーン券の購入	×	
タッチで Go! 新幹線	○	券売機での利用開始登録が必要
新幹線 e チケットサービス	○	えきねっとへの申込が必要
ネット決済	×	
エクスプレス予約	×	東海道・山陽新幹線のサービス
スマート EX	○	東海道・山陽新幹線のサービス

【凡例】 ○：可、×：不可 ※ ウェアラブルデバイスのみでの操作で提供可能

6. 対象 OS

フィットビットのアプリケーションの対象 OS は iOS12.2 以上 / Android7.0 以上です。

7. 一般のお客さまからのお問い合わせ先

フィットビットジャパン PR 事務局 TEL 03-6204-4301 MAIL: FITBIT.JP@fleishman.com

- ※ 「Fitbit Charge 4」は Fitbit, Inc. の商標です。
- ※ 「Android」、「Google Pay」は Google LLC の商標です。
- ※ 「iPhone」は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の登録商標です。
- ※ iOS 商標は米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- ※ iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ※ 「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。